

教科名	職業	学年	2 学年
-----	----	----	------

目 標	職業に係る見方・考え方を働かせ、職業など卒業後の進路に関する実践的・体験的な学習を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (2)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (3)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 ※目標はさらに 1 段階と 2 段階に分かれる。
学年の目標	勤労への意欲を高め、職業生活に必要な態度の理解を深める。

月	時 数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5	4	「オリエンテーション」 「自己理解」	【知識及び技能】 ・職業に関する事柄について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の長所と短所を考え、職業生活に向けた課題を設定することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来の進路に向けて、現在の課題を自覚することができる。	オリエンテーション ① 2 学年職業の学習について知る。 ② 進路決定までの流れについて知る。 A 職業生活 イ 職業 ① 卒業後に就きたい職業や将来どのような生活を送りたいか考える。 ② 希望の職業生活、家庭生活を送るために必要な力について考える。 ③ 自分の作業面（技術・態度）に関する長所と短所を考える。 ④ 自分が職場で生かすことのできる長所と働く上での課題について考える。 ⑤ 実習先、就労先で行う面接で話せるような自己アピールを考える。 【国語：話し合い】 【家庭：家族、家庭生活】	【知識・技能】 1 段階：職業や職種に応じた必要な力について大まかに理解することができる。 2 段階：職業や職種に応じた必要な力について理解することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：自分の長所、短所を考え、発表することができる。 2 段階：自分の長所、短所を考え発表し、短所に対する改善方法について考え深めることができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：どのような言動が相手にとって好印象になるのか、教師の助言を受けながら考えることができる。 2 段階：どのような言動が相手にとって好印象になるのか、主体的に考えることができる。
					評価方法：授業プリント、発表、授業態度
5 6 7	3	「いろいろな仕事」①	【知識及び技能】 ・身の回りの仕事、卒業生の仕事を知り、さまざまな職業について知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな職業や職種について知り、必要な力について考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな職業で必要な力について知り、勤労意欲を高めることができる。	A 職業生活 イ 職業 ① 1 学年での事業所見学、校外作業学習、現場実習の実習先の業種について知る。 ② 身の回りには、さまざまな職業、職種があることを知る。(グループワーク等で掲示物を作成し、発表する等) ③ それらの職業で、必要な力について考え、理解を深める。 ④ 職業と適性について、自分に置き換えて現実的に考える。	【知識・技能】 1 段階：様々な職業や職種があることを大まかに理解することができる。 2 段階：様々な職業や職種があることを理解することできる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：様々な職業、職種とその関連性について知り、掲示物等にまとめて表現することできる。 2 段階：様々な職業、職種とその関係について理解し、さらに視野を広げて考え深めながら表現することできる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：様々な活動を通して、教師の支援を受けながら自身の適性について考えることができる。 2 段階：様々な活動を通して、自身の適性について考え、受け入れることができる。
					評価方法：授業プリント、掲示物・発表、授業態度
6 7	2	「校外作業学習(事前・事後学習)」	【知識及び技能】 ・学習を通して、職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実習を通して、自己の適性を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習を通して、勤労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	A 職業生活 イ 職業 C 産業現場等における実習 ① 産業現場での学習で必要な態度や礼儀、マナーについて知る。 ② 実習の目的、日程、持ち物、作業内容等について知る。 ③ 振り返りや反省を踏まえ、これからの学校生活や将来に向けた目標を立てる。 ※校外作業学習の事前・事後学習は作業学習の時数（9・5）と合わせて実施する。実習期間は作業学習の時数で実施。	【知識・技能】 1 段階：校外作業学習で必要な態度やマナー等について大まかに理解することができる。 2 段階：校外作業学習で必要な態度やマナー等について理解することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：教師の支援を受けながら、校外作業学習の日誌等に成果と課題を書くことができる。 2 段階：校外作業学習日誌等に、一人で成果と課題を考え、書くことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：教師の助言を受けながら、校外作業学習の振り返りを行うことができる。 2 段階：目標を達成しようという意欲を高め、今後の課題について考えながら校外作業学習の振り返りを行うことができる。
					評価方法：授業プリント、授業態度

8 9	4	「いろいろな仕事」②	【知識及び技能】 ・卒業生の仕事を知り、地域でのさまざまな職業について知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電話のマナーのロールプレイの中で、職場へ話す内容を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・希望する職場で意欲的に働くことを考えることができる。	A職業生活 イ職業 ①卒業生の働く姿等を VTR で見ながら、働く上で必要な力や自分に足りない力について考える。 ②基本的なビジネスマナーについて、すでに実践していること、今後できるようになるべきことについて考える。 ③電話を受ける際、かける際の基本的な言葉使いやマナー等について知る。 ④報告、連絡、相談の大切さを知る。 ⑤職場で起こる可能性のあるトラブルについて知り、対処の方法を知る。 【社会：社会参加ときまり】	【知識・技能】 1 段階：挨拶や返事など基本的なビジネスマナーの大切さについて、大まかに理解することができる。 2 段階：挨拶や返事など基本的なビジネスマナーの大切さについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：報告、連絡、相談の必要性について考え、発表することができる。 2 段階：適切な報告、連絡、相談のあり方について考え深め、自身の行動について振り返ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：トラブルに対する対処法について、教師の支援を受けながら考えることができる。 2 段階：トラブルに対する対処法について、周囲の意見を聞きなら、主体的に考えることができる。 評価方法：授業プリント、発表、授業態度
			【知識及び技能】 ・実習を通して、卒業後の職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実習を通して、自己の適性を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・働くことを通して、勤労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	C産業現場等における実習 ①現場実習の目的、内容等を知る。 ②事前訪問の目的を知り、活動に見通しをもち、事前準備をする。 ③働くために必要な態度、マナー、トラブルの対処法を理解する。 ④緊急時の対応として、職場への適切な電話のかけ方についてロールプレイ等で確認する。 ⑤自分にとっての課題を整理し、目標を立てる。 ⑥決意発表会で自分の目標を発表する。 ⑦実習の成果と課題を整理する。 ⑧報告会で自分の成果、今後の目標を発表する。 【社会：社会参加ときまり】 【国語：履歴書と礼状、電話の対応】 ※現場実習の事前・事後学習は作業学習、国語、総合（20・7）と合わせて実施する。 実習期間は作業学習の時間で実施。	【知識・技能】 1 段階：現場実習の目的、内容、日程、持ち物などを理解することができる。 2 段階：現場実習の目的、内容、日程、持ち物などを理解し、自分で必要な準備をすることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：現場実習を振り返り、報告会で発表することができる。 2 段階：現場実習を振り返り、今後の目標を含めて自分の言葉で報告会で発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：現場実習での成果と課題について、教師の支援を受けながら考えることができる。 2 段階：現場実習での成果と課題について、主体的に考えることができる。 評価方法：授業プリント、発表、授業態度
			【知識及び技能】 ・2 学年の進路希望調査の目的を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・卒業後の生活を現実的にイメージし、働く場所や生活する場所について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らの進路について、主体的に考えることができる。	A職業生活 イ職業 ①現場実習等を振り返り、進路希望調査について考える。 ②希望の就労形態、生活の場等について具体的に考える。 ③自分の作業面、態度面等について長所と短所等を考える。	【知識・技能】 1 段階：進路希望調査の目的を大まかに理解することができる。 2 段階：進路希望調査が卒業後の進路につながるものであると理解することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：教師の助言を受けながら、希望する働き方や生活の場を考え、表現することができる。 2 段階：希望する働き方や生活の場を自ら考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：進路希望調査票の書き方を理解することができる。 2 段階：自分の将来について主体的、具体的に考えることができる。 評価方法：授業プリント、発表、授業態度
			【知識及び技能】 ・職業生活に必要な制度や関係機関について知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまなサービスの利用方法について知り、活用する場面について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・職業生活を維持、向上させることができるよう働く意識を高めることができる。	A職業生活 イ職業 ①一般就労と福祉的就労の働き方の違いや福祉的就労の種類と内容について知る。 ②福祉制度や利用できる福祉サービスについて知り、自分に必要な支援について考える。 ③自分の希望する働き方について考え、必要な力や自分に足りない力を考える。 【社会：社会参加ときまり】 【家庭：自分らしい人生をつくる】	【知識・技能】（生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価） 1 段階：就労系福祉サービスの種類と内容について、大まかに理解することができる。 2 段階：就労系福祉サービスに種類と内容について、理解することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：様々なサービスの種類があることを知り、教師の支援を受けながら自分に必要なサービスについて考えることができる。 2 段階：様々なサービスの種類があることを知り、自分に必要なサービスについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：様々な福祉サービスを活用しながら働くことの大切さを知り、イメージすることができる。 2 段階：様々な福祉サービスを活用しながら働くことを具体的にイメージすることができる。 評価方法：授業プリント、授業態度

11 12	5	「勤労と生活」①	【知識及び技能】 ・将来の職業生活を見据えて、健康管理や TP0 に応じた身だしなみについて知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・状況に応じた適切な身だしなみや言動について考えることができる。 ・困った時の適切な対応について考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・卒業後の自立した生活について考え、より充実した生活を送るための意欲と態度を身に付けることができる。	A職業生活 イ職業 ①職業生活での健康管理、身だしなみの大切さについて知る。 ②規則正しい生活リズム（仕事、生活環境に応じた生活スタイル）について知る。 ③卒業後の生活する場所について考える。 ④仕事と生活の密接な関係について、卒業生の事例から考え深める。 ⑤安定し、自立した生活を送るために必要なスキル（報告・連絡・相談）について知る。 ⑥困った時の適切な行動について考える。（グループワーク、発表） ⑦外部講師の講話を聞く目的と望ましい態度について知る。 ⑧講師への質問等を考え、実際に聞くことができる。 ⑨講話の振り返りを通して、感想と今後の生活で行動していくことについて考える。 【社会：社会参加ときまり】 【家庭：衣食住の生活、消費生活】 【国語：話し合い】	【知識・技能】 1 段階：健康を管理、維持するための行動について、大まかに理解することができる。 2 段階：健康を管理、維持するための行動について理解することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：状況に応じた適切な言動について知り、望ましい行動について考えることができる。 2 段階：状況に応じた適切な言動について知り、望ましい行動について具体的に考えることができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：日常生活の中で、働くために必要な力について考えながら行動する意識を高める。 2 段階：日常生活の中で、働くために必要な力について考え、行動することができる。
					評価方法：授業プリント、授業態度
1 2 3	6	「勤労と生活」② 「職業生活」	【知識及び技能】 ・将来の職業生活を見据えて、金銭管理や余暇活動の大切さについて知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・労働に対する対価や物価について知り、一般的な生活費とその適切な管理について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・卒業後の自立した生活について考え、現在よりもさらに充実した生活を送るための意欲と態度を身に付けることができる。	A職業生活 イ職業 B情報機器の活用について ①職業生活で必要な仕事と生活のバランスについて知る。 ②余暇活動を充実させることの必要性について知り、視野を広げる。（グループワーク、発表等） ③最低賃金、給料と工賃の違いについて知り、収入の範囲内でできることを考える。（調べ学習、発表） ④日常生活で必要な経費のおおまかな金額や適切な管理方法を知る。 ⑤生活をする上で1ヶ月にどれくらいの金額がなければ生活できないかを知る。（自宅と GH の金銭的な違い） ⑥自立した生活を送るために必要な生活力について知る。 ⑦生活場面で起こりうるトラブルについての対処法を知る。 ⑧情報の収集、収集した情報の発表 【社会：社会参加ときまり】 【家庭：消費生活・衣食住の生活】 【情報：iPad 利用】	【知識・技能】 1 段階：生活にかかる必要経費の金額について大まかに理解することができる。 2 段階：生活にかかる必要経費の金額について理解することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：仕事と余暇のバランスについて知り、様々な余暇について調べ、表現することができる。 2 段階：仕事と余暇の関係について知り、様々な余暇について調べ、工夫して表現することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：充実した生活を送るために、働く力と生活する力が必要であると知り、身に付けようと意識することができる。 2 段階：充実した生活を送るために、働く力と生活する力が必要であると知り、身に付けようと意識して、行動することができる。
					評価方法：授業プリント、発表、授業態度
3	1	「まとめ」	【知識及び技能】 ・1 年間の学習を振り返り、学んだことを整理し、働く力について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来的に社会人として、どのような生活を送りたいか考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・3 学年に向けて、成果と課題を整理し、目標を立てることができる。	A職業生活 イ職業 ①1 年間の職業の学習を振り返る。 ②働くことの意義と働く力について、改めて考える。 ③2 学年の学習について振り返り、成果と課題を整理し、まとめる。	【知識・技能】 1 段階：様々な働く力について、大まかに理解することができる。 2 段階：様々な働く力について理解することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：自分の将来の生活について考え、そのために必要な力について考え、表現することができる。 2 段階：自分の将来の生活について考え、そのために必要な力と具体的な行動について考え、表現することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：2 年間の学習を振り返り、教師の支援を受けながら、成果と今後の課題を考えることができる。 2 段階：2 年間の学習を振り返り、成果と今後の課題を考えることができる。
					評価方法：授業プリント、授業態度